

# GREEN RANGER NEWS

2024年12月号 Vol.366



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局  
〒989-0231  
宮城県白石市福岡蔵本字滝下101番地1  
URL <http://www.zao.org/>  
e-mail [mail@zao.org](mailto:mail@zao.org)

12月1日、今年最後の活動を終了しました。冬季動物観察用カメラは作業小屋前、ツリーハウス前、及び針広混交林の3箇所に設置したので来春が楽しみです。尚、我が家のルリタテハ観察については、新たに蛹(No.1)が見つかりましたが現在まで羽化していません。これまでの観察経過は以下の通りです。

(No.1) 12月9日現在、蛹の状態

(No.2) 幼虫時に蜂の繭が作られ、蛹化できなかった。

(No.3) 羽化後、玄関に飛来確認: 11月16日

(No.4) 蛹化: 10月21日、羽化確認日: 11月16日



(No.1) 現在も蛹の状態

(No.3) 羽化後の抜け殻

(No.3) 玄関に飛来

(No.4) 羽化直後

GRニュース 12月号をお届けします。

## ■11月10日(日) 作業小屋・物置小屋の大掃除、理事会

2か月ぶりに参加できた。天気もよし、いつもの参加者の皆さんの顔がまぶしい。すぐ大掃除とカメラ設定に分かれて行動。アナグマの穴を数ヶ所見てみると、入口の外は薄く枯葉に覆われているが、中はきれいなので活動している様だ。カメラも順調に撮れている模様。そうして各森を巡って感じたことは、今年の紅葉も黄葉も輝いていないような気がする。いつもなら綺麗に色を付けて散り、来春のために休みたいと思っていたのだろうが、今年はそれが許されていない様な。一方、スマレやモミジガサなどの花が咲いている。単に狂い咲きと言っていいのだろうか。更に温暖化が進むとどうなるのだろうかと不安になる。

帰ると、皆さん速やかに掃除を終わらせ散策に行ったようで、それぞれ袋に何か詰めて帰って来た。まずは昼ご飯、食後にリンゴ・サツマイモ・ジャガイモ・ドライ納豆をいただき、満腹、ご馳走様。そのまま理事会、総会までの日程などを決める。そして解散、その前に何か詰めて帰って来た袋の中身を分配することに。ナメコ・ムキタケ・ヒラタケなど、ありがたく山の恵みをいただきました。今日もありがとう！ 参加者: 10名

次会11月24日(日)は荒浜海岸公園センターハウス前10時です。場所を間違えないで下さい！



大掃除、ヘビの脱皮



紅葉？黄葉？



タチツボスミレ、モミジガサ

■11月24日(日) 樹高計測、クズの処理、定点撮影、樹木名杭設置

荒浜へ着く、天気はまあまあ、海風が少し寒い。使用荷物は多い様だが、木槌だけを担いで植林地へ先行。貞山堀の橋上からヤマハンノキの林が見える、まだ葉を落としていない。中に入ると、アベマキやブナが枯葉を付けており目立つ、ケヤキは葉を落としてスッキリ裸だ。オオバヤシャブシやヤマハンノキは実をいっぱいつけている。柵の内外のクズは今年の除去作業で身を潜めているが、来年、またやってくるのだろうか。

皆さん到着、東邦運輸さんから6名参加いただき、ミーティング。まずは朽ちた樹木名杭の更新のため、旧杭を探す人と新杭を運ぶ人に分かれる。探すさまが、いかにも宝探しかキノコでも探してるようでなかなか滑稽でもある。草っぱらから倒れたり腐っていたりした杭を探すのは一苦勞。8月にプラスチックの小さな杭に名前を書いて挿しておいたのが功をなしたのか、早速「イヌシデの②番！」と大きな声が飛ぶ。「ハイありました！」と新樹木名杭が小走りに運ばれる。いいチームワーク。次は根元に置いてあった新杭を木槌で打ち込む。木槌が少なくすみません、結構時間かかりましたけど、無事終了しました。休憩です。

次は、杭を挿した所の樹木の高さを計測をします。高木は測定棒を目測で倍々にしてゆき測り、低木は巻き尺で測定。終わったと思ったら、まだありました、捕植のための苗木を植林します。そして無事終了。ありがとうございました、お疲れ様でした。また山の植林地でお会いしましょう。参加者：14名



樹木名探し



新杭打ち



計測



補食



計測木抜粋



補植木抜粋

## ■12月01日(日) 自然観察、冬季動物観察用カメラ設置

早いもので、今年最後の活動日となった。釜房湖の北側に薄っすら虹が、時雨模様か。リスの森に近づくと、元気なチェーンソウの音、ヤマハンノキの間伐が始まっている。通り過ぎると、蔓ものを刈ってる人たちがおり、彩遊の森の幹道を散策している人たちも、みんな早々と思いきいの行動をとっている。

ミーティング。間伐班は続行、動物観察班はこれまでのカメラの撤去と冬季用の設置、散策班はそろそろクリスマス・師走の飾り物が気になるらしい。カメラを撤去・設置しながら各森を歩く。林床は何処もかしこも広葉樹の枯葉で敷き詰められている。葉っぱだけでなく、倒木や間伐された幹や枝も微生物のお陰で肥沃なものへと変えられて行く、なんと贅沢な土壤だろう。それを踏みしめて歩き、もしも木がなくなったらどうなるだろう、と思うことしばしば。それを吹っ切るように小さなふっくらとしたコブシの冬芽がいっぱい青空に映えていた。

午後、動物観察動画の鑑賞。2019年から撮影開始し、どう撮れるか手探りで設置、色んな動物たちを撮ってくれたカメラに感謝しています。植林した頃、積雪の上に出ていたケヤキの新芽や枝をウサギが綺麗に食み、裸にしくれたり、ヤマユリの根をイノシシが掘りつくしたり、そんな動物たちを恨んだ事もありました。一方、クワノキに登ったクマや、クリやクルミのお膳を用意してまでリス・テンが撮れた時の感動も忘れられません。

鑑賞も終り、Nさん朝採りのムキタケとナメコを頂き解散となったが、間伐の作業について行く。チェーンソウの音とともに1本1本分つつ空が開けて行く。ありがとうございます。これで、日陰で我慢していた木々が来年さらに成長して行くことでしょう。楽しみに、また通わせてもらいます。参加者:9名

皆さん、今年は本当にありがとうございました。来年も応援・参加よろしくお願ひします。



ブナと林床



コブシ、マユミ



ヤマハンノキの間伐

## ■今後の活動について

<2024年>

活動終了

<2025年>

理事会

日時:1月19日(日) 9:00~12:00

場所:名取駅コミュニティプラザ

総会

日時:2月9日(日) 10:00~12:00

場所:名取駅コミュニティプラザ

\* 新年会は中止